

第3回 子育て支援者 つながる会議

2021/7/15(木) 13:30~15:30 開催

テーマ：つい「定番の方法」で向き合っていませんか？

ある程度の経験で「支援」や「家族」を理解できた気分…それでほんとうに大丈夫？



プログラム

- ① テキスト共有（書籍より一部抜粋）
教材「ケーキの切れない非行少年たち」
宮口 幸治 著 新潮新書
- ② ロールプレイ



会場 佐世保市市民活動交流プラザ 会議室A(戸尾町5-1)

参加費 ¥500(資料代ほか)

対象 地域で子育て支援にかかわる個人・団体

申し込 NPO法人ちいきのなかま HP 申し込みフォームより

お申し込みください



イギリスの映画だった。

問題がある…と思しき家庭に、児童福祉局(?)の女性が子どもを保護するために訪れた。彼女は家族を見下した口調で保護を通告、親には不服申し立ての権利があることを伝え、泣き叫ぶ子どもを連れて去っていく。女性にとっては、いつものルーティンワーク、でも、この瞬間、子どもの未来が大きく変わると思うと、胸が痛む。

私たちの支援も日々ルーティンワークをくりかえす。私たちは、利用者に敬意を持って向き合いたいし、包み込むやさしい言葉を準備したい。今回は私たちの仕事「こなす仕事」になっていないか検証したい。定番のコミュニケーションの中に利用者の本当の想いを埋没させるような仕事にならないようにと思う。

この会について…



地域の子育て支援は基本的に寄り添う支援です。指導ではない「寄り添う支援」は「待ち」の支援でもあります。支援者は、体調と気持ちを整え相手と向き合い、事後には自身をケアすることで継続的な活動が可能になります。ケアのひとつが支援の仲間との会話、話すことで気持ちが軽くなることもありますし、仲間から答えをもらうこともあります。この会は、支援者が支え合えるよう定期的で開催します。